みどりの里

宇奈月小学校だより
第８号
令和８年１０月１５日

目指す子供像：うんと考える子　なかよくする子　つよいからだの子　きれいなこころの子
目指す学校像：つながって　輝く　明るく　楽しい　宇奈月小学校
黒部市立宇奈月小学校　〒938―0862　黒部市宇奈月町浦山 205 番地１　℡ (0765)65-2288
URL https://www.unazuki-e.tym.ed.jp/　E-mail　unazuki-es@kurobe.ed.jp

子供と共に過ごす時間の尊さ

校長　若島　肇

２０年ほど前の話です。当時、中央小学校で６年生を担任していた私は、６月２４日の「じんじん祭り」の見回りをしていました。当時のルールでは、高学年児童は２人以上であれば子供同士でお祭りに行くことが可能だったため、その様子を夕方に見て回ったのです。

たくさんの子供たちが笑顔でお祭りを楽しむ中、６年生男子５～６名の後ろを、一人のお母さんがニコニコしながらついていくグループがありました。「大勢の子供たちを見守っていて大変そうだな」と思いながらも互いに笑顔で会釈し、先へと進みました。

同じ日の夜８時頃、私はプライベートの時間に、もう一度祭り会場へ足を運びました。すると、さっきお会いしたお母さんと息子さんが、今度は２人きりで並んで歩く姿に出会ったのです。目が合い、「あれ、何か買い忘れたものでもあったのですか」と声をかけると、お母さんは息子さんから少し離れて、私にそっと教えてくれました。

「息子は６年生。きっと、２人で楽しめる最後のじんじん祭りなんだろうな、と思って、夕食後にもう一度私から誘ったんです」

先日の１０月７日（水）、来年入学してくるお子さんの「就学時健診」が行われました。その中で、市ＰＴＡ連合会による保護者向けの「親学び講座」が開催され、私も参加いたしました。入学前の保護者の皆様が「親」という共通のテーマで語り合い、学びを深めていく姿は、とてもすがすがしく、うらやましくも感じられました。

あるグループでは、子育てをする中で「わたしの時間」をどのように生み出すか、という内容で話し合われていました。参考になる様々な意見が出た後、講師の方が述べられた講評が深く心に残っています。

「子育てに夢中になれる時間は、一生の中でも限られた時間。だからこそ、夢中で子供に向き合う時間こそが『わたしの大切な時間』であったと、今になってしみじみと感じています」

１０月１０日（土）の運動会では、朝早くから多数の保護者の方々にテント設営等のご準備にご協力いただきました。会場を埋め尽くすほどの地域・保護者の皆様の応援のもと、盛大に運動会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

競技に応援に、そして係の仕事にと、互いに励まし合い認め合いながら、今持っている力を十分に発揮して輝く子供たちの姿は、親にとって何事にも代えがたい「珠玉の時間」であったことと思います。

これからも宇奈月小学校では、子供たちの持てる力を十分に引き出せるよう、行事はもとより日々の教育活動においても努力してまいります。そして、学校・家庭・地域が協力し合い、宇奈月ならではの様々な体験活動を通して得た感動を、保護者の皆様とも共有できるよう工夫してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。